

平成22年度 決算 報告

一般会計

平成22年度決算が9月議会で認定されました。決算報告は、将来を見極めるうえで大切な指標となります。町では皆さんが納める税金をはじめ、地方交付税や国・県の補助金などをもとに行政運営を行っています。決算で、どれだけの税金をどのようにつぎ回すかを説明します。

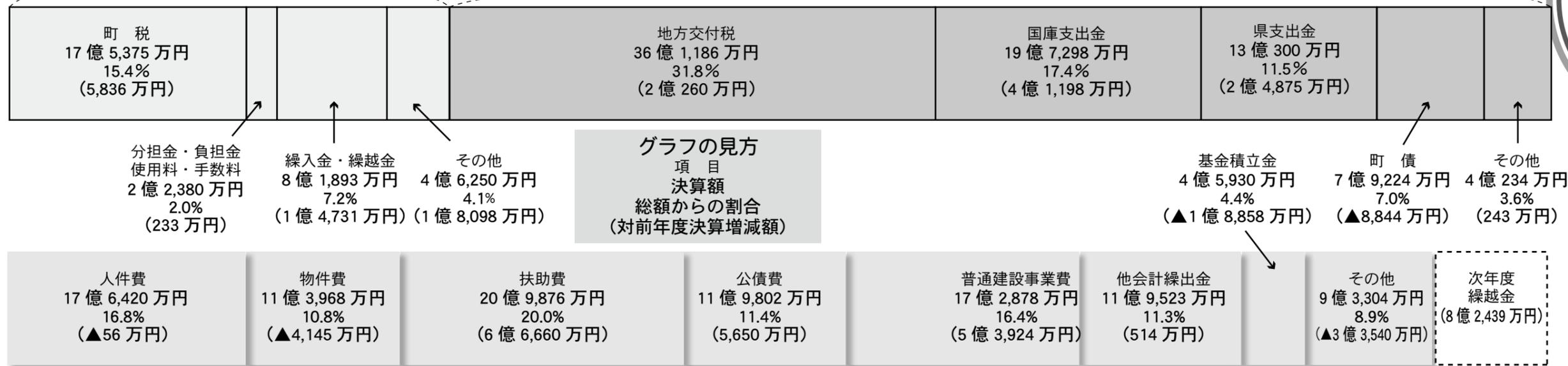


収入 113億4,140万円 (対前年度比 11.5%)

11億6,630万円増

自主財源 (28.7%)
32億5,898万円

依存財源 (71.3%)
80億8,242万円



グラフの見方
項目
決算額
総額からの割合
(対前年度決算増減額)

支出 105億1,701万円 (対前年度比 7.1%)

7億149万円増

グラフの説明《歳入》

【自主財源の項目】
・自主財源とは、町が自主的に収入しうる財源をいい、次の項目があります。
自主財源比率は、行政活動の自主性と安定性を確保しているかどうかの判断（尺度）になります。比率が高ければ行政活動が安定し、比率が低いと財政の硬直となります。県内町村平均の自主財源比率は31.7%（H21年度決算普通会計参考）で、八重瀬町は自主財源が低い水準となります。

町税 町民のみなさんが納めていただく町民税、固定資産税などの税金です。
分担金・負担金 保育料や住民健診など特定のサービスを受けたときに納めるお金です。
使用料・手数料 施設使用料や幼稚園入園料・授業料、町営住宅家賃、各種証明書手数料など利用者のみなさんが支払ったお金です。
繰入金・繰出金 基金の取り崩しや特別会計から一般会計への金額を繰入金、前年度の一般会計から持ち越した金額を繰越金となります。
その他 財産を処分した財産収入や寄付金、諸収入があります。

【依存財源の項目】
・依存財源とは、国・県の意思により定められた額の交付されたり、割り当てられたりする収入があり次の項目があります。

地方交付税 地方公共団体が等しく事務を進める事ができるように、所得税、法人税、酒税など国が徴収した税金から一定の基準により交付される税です。
国庫支出金 児童福祉費負担金や都市計画費補助金など国が地方公共団体に対して、特定の事業を促進する目的で資金の用途を指定して交付されるお金です。
県支出金 農業費補助金や選挙費委託金など県が市町村に対して、特定の事業を促進する目的で資金の用途を指定して交付されるお金です。
町債 町が大規模な事業などを行うときに国などから長期的に借り入れする資金です。
その他 地方譲与税、利子割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の国・県が徴収した税を一定の基準により交付される税です。

平成22年度の八重瀬町一般会計決算を報告いたします。

収入は113億4,140万円の前年度と比べ11億6,630万円の増（11.5%の増）となり、支出は105億1,701万円の前年度と比べ7億149万円の増（7.1%の増）となりました。差引額は8億2,439万円となり次年度繰越金として繰越事業費や次年度の財源へ充てられます。

平成22年度の決算は、収入で土地区画整理事業の宅地造成等に伴い固定資産税（土地・家屋）増加による町税の増（対前年度3.4%）、前年度繰越金の増（対前年度49.8%）、その他として国道507号拡幅工事に伴い町有地の補償があり財産収入の増となりました。そのため自主財源が前年度と比べ3億8,898万円の増（13.6%の増）となっています。また、地方交付税の増、扶助費と普通建設事業等の増に伴い国庫支出金で4億1,198万円（対前年度26.4%）、県支出金で2億4,875万円（対前年度23.6%）の増となりました。そのため依存財源が前年度と比べ7億7,732千円の増（10.6%の増）となっています。

支出は、人件費、物件費を抑制し、子ども手当や保育所民営化に伴い法人保育園措置費等による扶助費で6億6,660万円（対前年度比46.5%）の増、具志頭小学校校舎建設や法人保育園の老朽化による増改築、強い農業づくり交付金（マンゴハウス）、村づくり交付金事業等による普通建設事業で5億3,924万円（対前年度45.3%）の増となっています。また、その他の項目が大幅な減となっているのは、前年度で事業終了した定額給付金事業によるものとなっています。

自主財源の収入が増えたにも拘わらず、依存財源の割合が71.3%と高い水準となっています。安定した財政運営を図るためには、依存財源に頼らない自主財源の確保が必要となります。今後も財政改革による事務事業の縮減に取り組んでいきます。

町民のみなさんのご理解ご協力お願いいたします。

【特別会計の決算は次のとおりとなっています。】 単位：千円

会計名	会計名	歳出	差引額
国民健康保険特別会計	3,381,309	3,644,386	▲263,077
老人保健特別会計	2,412	2,412	0
集落排水事業特別会計	106,526	102,442	4,084
土地区画整理事業特別会計	1,020,287	1,012,764	7,523
後期高齢者医療特別会計	145,597	145,442	155



比屋根 祝 渉

伊藤出身 Wataru
八重瀬のスピードスター
(日本製紙石巻)

プロ野球選手誕生!? 東京ヤクルトスワローズ3位指名

亡き兄との夢叶える 家族ら歓喜

プロ野球のドラフト会議が10月27日東京都内のホテルで行われました。社会人球界からは、走攻守三拍子そろった日本製紙石巻(宮城県石巻市)の比屋根渉選手(字伊覇)が東京ヤクルトスワローズから3位で指名を受けました。

父の毅さんは、ドラフト会議後の電話で「やったな」と問いかけ「オウッ」と声が裏返りそうな返事に「本人の喜びが伝わってききました」と話し、喜びを分かち合いました。

3月の大会中に宮城県石巻市が東日本大震災で大きな被害を受け、しばらく練習もできない日々が続いていましたが、各地を転々としながら練習、プロ入りを目指し、成長を続けていました。比屋根選手は「幼い頃から一緒に野球を続けてきた兄を事故で亡くしたが、その後も兄とは『二人三脚』という思いで野球をプレーしてきた。これからもその思いを忘れず野球を続けていきたい」と決意を語りました。八重瀬町からプロ野球選手が誕生するのは、同東風平町、同具志頭村の時代を含めても初めての快挙となります。

○3位指名を受けたとき 上位で指名されてビックリした。嬉しくて、鳥肌が立った。

○ヤクルトについて プレーしてみたいチームの一つ。ひとり一人がチームのために戦う姿勢は、自分のプレースタイルに合っていると思う。

○ドラフトについて両親には 母には先に話していたが、父は驚かそうと思っていた。

○今後の目標について 最高の舞台で、常に向上心を持ってプレーしたい。一軍でレギュラー争いができるようにがんばりたい。そして、活躍して八重瀬町をアピールしたい。

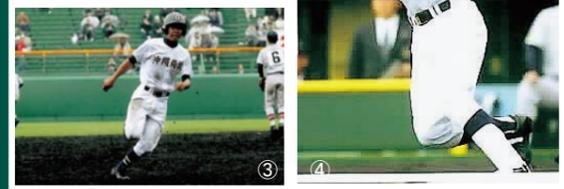


東風平球場オープン記念「プロ野球OB」交流会(上から2列目、左から5番目)平成14年8月



球歴
比屋根 渉(ひやねわたる)
1987年6月20日生
180cm70kg 50m5秒9
右打者ながら一塁到達タイム4.0秒を記録する抜群の脚力が売り俊足のリードオフマン

- ▼小学校3年生から東風平星で野球を始める
- ▼東風平中学2年、県大会で優勝し、全国大会へ出場
- ▼沖縄尚学高3年、春と夏に3番中堅手として甲子園に出場ベスト8入りを果たした春の選抜大会の初戦、2安打2打点2盗塁と活躍
- ▼城西大学(埼玉県)では、1番打者としてチームを牽引、2年の春、4年の春秋の3度ベストナインに選ばれる。4年の秋に打率.421で首位打者を獲得。夏には首都大学選抜に選出されワールドポート・トーナメントで国際大会を経験
- ▼日本製紙石巻では、1年目から1番中堅手として活躍2年目スポニチ大会では初戦のトヨタ戦で4安打2打点3盗塁の大活躍、強豪撃破に貢献しプロスカウトから注目される。
- ▼プロ野球ドラフト会議で東京ヤクルトスワローズから3位で指名される



新小 全カパワーで優勝目指せ 笑顔輝く運動会

東小



11/6 運動会

秋空の下、町内各小学校で運動会が開催されました。この日のために練習を積んできた子どもたちは体全体で演技を披露しました。また、綱引きや玉入れかけっこなどで元気な姿を見せました。子どもだけではなく保護者も笑顔いっぱい競技を楽しむ中、真剣な表情で白熱する競技も展開され、心地よい汗を流しました。

具小

運動会汗流し ドラスコパーで優勝だ!!



元気100%ティーンズの下でかけぬける!!

白小



もえる太陽 かがやくイナズマ 東風っ子魂みせつける



新春 走り始め大会

町民が新たな年を迎えるにあたり、健康の増進、生活を明朗にし、併せてスポーツの振興その普及発展を図ることを目的として開催します

主催	八重瀬町体育協会
期日	平成24年1月8日(日)
集合場所	八重瀬町具志頭運動公園陸上競技場
参加申込み受付	大会当日 午前8時00分～午前8時45分まで
開会式	午前9時00分
終了時間	午後12時00分
参加人数	3000人程度
距離	2km 小学生(男女)
	3km 中学生女子・高校生女子・一般女子
	5km 中学生男子・高校生男子・一般男子
	10km 壮年男子(50歳以上)
表彰	小学生・中学生・高校生・一般・壮年の各男女とも1位～3位まで賞状を授与します。小中学生には参加賞として、学習ノートを配布します。

☆大会終了後には餅つきもあります。☆

平成23年度 地場産物を活用した 学校給食献立調理発表会

最優秀賞 八重瀬町立東風平学校給食センター

7月26日、沖縄県学校給食会で開催された「平成23年度地場産物を活用した学校給食献立調理発表会」において、東風平学校給食センターの献立が最優秀賞に選ばれました。

特色・献立作成の意図

○「ぐしちゃんいい菜」は、4月に商標登録され、八重瀬町が特産品としても力を入れているので、積極的に活用するとともに、児童生徒の地域の食材や食文化を理解する心の育成につなげるため、献立に取り入れられました。

○カンダパーが品種改良されて、葉、葉柄の部分ともに使いやすくなったので、料理に合わせて和え物、炒め物、汁物に利用しています。

食に関する指導

○児童生徒の地域の食材や「食」への興味関心を高めるため、「ぐしちゃんいい菜」について、給食時間に校内放送とともに、実物を見せるなど指導している。また、給食だよりをとおして、栄養価や給食での献立への利用について紹介しています。



牛乳、コッペパン、グルクンのアセロラソースかけ、にがうりといちい菜のサラダ、アサリスープ、ドラゴンフルーツゼリー